

3月議会定例会

令和3年度一般会計当初予算は
総額36億3千2百万円

(前年度比5.9%増)

令和3年度3月議会定例会が、3月3日から12日までの8日間にわたり開催され、条例の一部改正や指定管理者の指定、町有財産の無償貸付、令和3年度各会計当初予算案等50議案が提案され、いずれも可決されました。

令和3年度一般会計当初予算の総額は36億3千2百万円で、新年度事業として、教育や生活環境、農林水産等の分野において、特色ある事業を予算化したことにより、前年度より2億2百万円増の予算となっています。

行政報告

◆新年度予算について

本町の令和3年度当初予算については、国の動向を踏まえ、「藤里町まちづくり計画（後期計画）」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「藤里町過疎地域自立促進計画」を基本に据え、今後も続くことが危惧される厳しい財政事情の中、引き続き財政健全化に取り組み、限られた財源の中で創意工夫を凝らし、人口3,100人の行政規模を追求した効率的で効果的な施策・事業を実施することを目標に編成してきました。行政の更なる改善と、財政基盤の確立強化とともに、住民ニーズに対応した事業を進めて参る所存であります。

◆令和3年度米生産の目安

昨年12月に、秋田県全体の生産の目安が示されており、藤里町においては1月21日開催の町農業再生協議会臨時総会で決定されました。

米の消費量減少に伴う需要量の見直しや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による外食産業での消費量減少で、秋田県の生産の目安は、生産数量390,000t、面積換算で67,826haとなりました。

これを受けまして、藤里町の生産の数量目安も、前年より58t減の2,218t、面積換算で11,37ha減の405.48haとなりました。

そして、これに基づきまして、各農家への令和3年度米の目安は、昨年と同様に水田を耕作している全農家を対象に同率で算定することとし、その目安を方針作成者であるJAあきた白神と町農業再生協議会の連名により、2月19日に通知したところです。

前年より58t減少した生産数量につきましては、方針作成者であるJAで、国からの各種交付金を見据え、営農計画の取りまとめを行うこととしています。

町ではこれを踏まえ、町独自の事業内容も見直し、飼料用米の作付け拡大を図ることなども含めた支援策を令和3年度当初予算に盛り込んでいます。

◆介護保険料について

昨年から「第8期介護保険事業計画策定委員会」を開催し検討した結果、人口減少の見込み、また要介護認定者数の減少などが見込まれますが、介護報酬の改定や施設サービス給付費の伸びと、地域支援事業を効果的に行うため、月額で400円増の7,800円とし委員会の承認をいただいたところです。今までも、低所得者層への配慮に努め、介護予防に重点を置き、重度化を抑止する施策を展開していきたいと考えているところです。

◆教育関連について

記録的な大寒波に見舞われた本県において、藤里町立藤里義務教育学校第一期工事への影響が懸念され、コンクリートの乾燥に思いのほか時間を費やしたことから、2月末日での工事全体の進捗率は76.22%となっています。計画予定である進捗率94.56%からは少々遅れてはいるものの、それ以外の工程では大きな影響を受けることもなく、増築された職員室棟や教室棟の全景が現れはじめています。

また、新校舎内部では配線などの電気設備工事や空調機器などの機械設備工事

